



セーフコミュニティ 取り組み宣言！

秩父市では、9月4日、セーフコミュニティの認証取得に向けた取り組みの開始を宣言しました。

「安心・安全なまちづくり」は、市政経営のもつとも基礎的で重要な要素です。国際的に認められている「セーフコミュニティ」の手法を活用し、これまで以上にレベルの高い「安心・安全なまちづくり」を推進していきます。

これから、このコーナーを通して、セーフコミュニティの考え方や、認証取得に向けた取り組みをお伝えしていきます。
固地域政策課 ☎22-288233

Q. 「セーフコミュニティ」ってどんな制度？

「世界保健機関(WHO)地域の安全向上のための協働センター」が、世代や障がいの有無に関わらず、安心・安全に暮らせるまちづくりに継続的に取り組む「まち」を国際的に認証する制度です。

「ケガやそれを引き起こす事故などは偶然に起こるものではなく、予防することができる」という理念のもと、科学的なデータに基づく「プログラム」と、地域・行政・警察・家庭・学校などの「横断的な連携」を組み合わせ、事故・犯罪、災害、自殺等の予防に継続的に取り組むものです。

これらはすべてセーフコミュニティ活動です



▲AED講習会



▲交通安全キャンペーン



▲高齢者筋力アップ教室



▲地域の自主防災訓練

地域の「絆」、地域社会の活力向上

「安心・安全なまちづくり」を合言葉に活動するさまざまな団体が、今まで以上に連携して活動に取り組むことができます。これにより、地域の「安心・安全度」が高まるのはもちろん、セーフコミュニティ活動を通じて地域の絆が深まり、地域社会の活力が一層高まります。

市民意識の向上、事件・事故の発生抑制

地域の課題に関するデータを科学的に分析した「根拠のある安全対策」を行います。これを継続的に実施することにより、活動に取り組む市民の安全に対する意識が高まります。また、事故・犯罪の発生環境を改善することで、発生件数が抑制されます。

「セーフコミュニティ活動」でこんな効果が期待できます

医療、介護等の費用の削減

セーフコミュニティの先進地であるスウェーデンでは、事故によるケガが30%も減少した例があります。ケガの「予防」に重点を置いた効果的な活動により、将来的には医療費や介護費用の削減も期待されます。

市や地域のイメージアップ

世界基準の安心安全に関する認証が受けられるため、市や地域のイメージアップが図られます。これにより定住人口の増加や企業誘致への効果が期待されます。